

## Anti human TLX mouse monoclonal antibody

Tlx: tailless homologue

製品コード PP-H6510-00

Clone No. H6510

Lot. A-1

濃度 1mg/mL

容量 100 $\mu$ L

Ig class G2a

Nomenclature NR2E1

Genbank Y13276

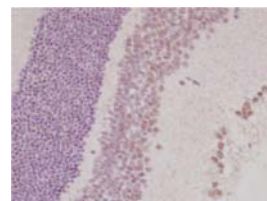
**由来** ヒトTLX (81-180 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

**特異性** ヒト TLX と特異的に反応する。マウスおよびラット TLXと交差反応する。

**精製法** 硫酸塩析法**溶媒** 生理的食塩水  
防腐剤として0.1% NaN3添加

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

**Application** 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。**Western Blot** 可  
参考使用濃度 1  $\mu$ g/mL**非還元 Western Blot** 未検討  
参考使用濃度 -**ELISA** 可  
参考使用濃度 0.3  $\mu$ g/mL (A450=1.0)**免疫沈降** 可  
参考使用濃度 1  $\mu$ g/mL**Supershift Assay** 未検討  
参考使用濃度 -**クロマチン免疫沈降** 未検討  
参考使用濃度 -**免疫染色** 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

ラット  
網膜  
内顆粒層、神経細胞層

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献**

**備考** 溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。